

「成田空港の更なる機能強化」に関する住民説明会での質疑応答要旨

【第1回目】

開催日：平成30年2月28日（水）19：00～21：37

開催場所：横芝光町町民会館大ホール

出席者：住民227名

説明者：国土交通省、千葉県、成田国際空港株式会社（NAA）、横芝光町

●質疑応答

- 発言者①
- ・スライド運用がはっきりわからない。
 - ・地価ダウンの予想はしているか。
 - ・A滑走路側のコンターが縮小されるのはなぜか。
- NAA
- ・資料1にあるように、時間差で早番遅番があり、それぞれの経路下で7時間の静穏時間を確保する案である。C滑走路ができるまではA滑走路については6時間をお願いしている。
 - ・A滑走路のコンターが縮小した理由は、昔のコンター作成当時は、多くの大型機の運航が想定され、それに基づき作成しているのので、小中型機が主流となる50万回時の将来コンターは縮小となる結果となった。ただし、騒音対策エリアは縮小しない提案である。
- 横芝光町
- ・地価ダウンについては現在予想していない。
- 発言者①
- ・東京辺りでは1dBあたり1.33%地価が下がり、経済効果も大きくマイナスになると聞いた。横芝光町ではそういうことはないと考えていいか。
- 横芝光町
- ・経済効果への影響ということではなく、現段階では考えていない。
- 発言者②
- ・防音工事が必要な世帯は町の全世帯の何%になるのか。
- 横芝光町
- ・概ね4000世帯。町全体の4割程度。
- 発言者②
- ・スライド運用はごまかした。谷間地区は4～5時間しか眠れない。
 - ・オリンピックを盾に全てがまかり通るとおもったら大間違い。現状のままで良い。これ以上騒音はいらない。人口が減少しているのに新しい道路も鉄道もいらない。工業団地も河川も機能強化に合わせてやるものではない。
- 国交省
- ・静穏時間を7時間保つようにした案であり、生活リズムを変えてほしいとお願いしたものではない。深夜・早朝対策として内窓や低騒音機に限定するといった提案をさせてもらっている。また、C滑走路供用時までには相当期間がかかることから深夜早朝対策の更なる改善についても引き続き協議していく。東京オリンピック・パラリンピックだけではなく、それを契機と捉え、日本の活性化を進めていきたい。
- 千葉県
- ・町の地域振興策については町民アンケートの結果によるものであり、町民の意向と認識している。
- 発言者③
- ・鳥喰新田や北清水はなぜ騒音対策エリアに入っていないのか。町全体が騒音対策エリアにならないのか。
 - ・内陸空港では機能強化は難しい。成田を機能強化するのではなく九十九里沖に空港を造ったらどうか。

- 国交省
- ・成田空港の周辺地域については、法律の枠を超えた対策がある。その設定については今後協議させてもらう。
 - ・羽田空港も都心上空を飛ぶ計画がある。一方で羽田空港の機能強化だけでは不十分であり、成田空港の機能強化についても必要不可欠であることをご理解いただきたい。
- 発言者④
- 千葉県
- ・地域振興で企業誘致とあるが、その前に人口が減少してしまう。農地の転用を検討してほしい。地域振興は早く具体化させてほしい。
 - ・基本プランの 27 頁 28 頁にあるとおり、機能強化がされると、空港従業員数は現在の 4 万人から 7 万人になる。空港関連の企業も増えるので、子育て環境の整備等により人が増える仕組みができると期待している。農地転用については特区や規制緩和等について次年度千葉県でも 1600 万円の予算をとり調査検討をしていく。また、30 頁にもあるが、着手できる事業については 31 年度を待たずに、スピード感をもってやっていく。
- 発言者⑤
- 横芝光町長
- ・国と N A A の回答書には横芝光町の地域振興について何もなかった。2 月 22 日の読売新聞に町長の発言として県の回答について「良かった」と話したとあったがどういうことか。
 - ・これから町長はどういう意向なのか。
 - ・栗山川の関係で本町地区の排水問題はどのようにするのか。
 - ・「一定の評価」と発言した部分のことだと思うが、千葉県からは町要望事項について「具体化に向けて最大限努力する」と回答いただいた。単年度でできない事業ばかりの中でその表現は「やる」ということと認識している。
 - ・今日、明日の住民説明会で意見をもらい、フラットな気持ちで議会と相談し最終的な結論を導き出さなければならない。反対的な意見を聞いている今日の様子では厳しい状況にならざるを得ない。
 - ・栗山川の改修については 10 年に 1 度の大雨に対応する計画で進んでいる。いずれにせよ、絶対に必要な改修である。
- 発言者⑥
- 国交省
- ・今日の説明会で参加者が理解したと思わないでほしい。平穏に暮らしたい。
 - ・オリンピックに向けて急いでいるが、オリンピックは一時的なことだ。この案を許すと既成事実になってしまう。
 - ・東京オリンピック・パラリンピックだけでなく、それを契機に日本の活性化に向けて計画している。政府全体として空港機能強化は必要という考えである。もちろん、騒音の影響に対する地域への対策を踏まえた上で検討している。
- 発言者⑥
- 横芝光町長
- ・この時点で町長の気持ちを表明したらどうか。
 - ・私は町民の代表である。今、意見集約をしている最中ということである。
- 発言者⑦
- 千葉県
- ・騒特法の移転対象区域が Lden66dB まででなく、Lden62dB までに変わる可能性はあるか。
 - ・現行制度を前提として地区設定を進めている。法令の基準がある中で、どこまで柔軟化できるかという運用を考えているが、Lden66dB の基準について、改正の見込みは聞いていない。

- 発言者⑧ ・ Lden62dB の音というのはどの程度なのか。二重サッシにするとどのくらい軽減されるのか。
- N A A ・ 防音工事をした上で内窓をつけると、概ね 35~40dB 軽減されることが見込まれる。
- 発言者⑧ ・ 家の中は良くても外では会話できないということか。
- N A A ・ 低騒音機への料金優遇制度により、低騒音機を増やす取組みもしている。また深夜早朝には低騒音機に限定した運航を提案している。
- 発言者⑧ ・ 地価が下がることについて町長はどう思うか。
- 横芝光町長 ・ 当町だけでなく、日本全体において、人口減少により全国的に土地の需要が下がり、地価が下落していると思う。町の魅力アップが必要だが、努力に努力を重ねてもなかなか難しい問題である。しかし、町の魅力を高める努力を行うことで少しでも上昇していくのではないかと。
- 発言者⑨ ・ 騒音対策がないところはどうすればいいのか。隣接区域とはどこなのか。
- ・ 「国策」ではなく「酷策」だ。住民の立場で検討してほしい。
- 国交省 ・ 騒音レベルに応じた対策をとる。法律の枠を超えた成田方式である隣接区域や準谷間地域については関係者間で今後協議する。
- ・ 機能強化の必要性を理解してほしい。
- 横芝光町長 ・ 隣接区域の設定は町も関与する。騒防法第 1 種区域の外の 300m 程度が対象になると思う。対象になると、防音工事や電気代の補助などがある。いずれにせよ、財源の目途が必要。
- 発言者⑨ ・ 時間を守ってほしい。人間的な生活を尊重してほしい。
- 発言者⑩ ・ 横芝光町だけが犠牲を被る。日本の将来のために我々が犠牲になるのはおかしい。
- ・ 土地の価格は既に 2/3 になっている。固定資産税への補助など町の施策を出すなら、地価の下落率を試算して出すべき。
- 発言者⑪ ・ 開港当初の運用時間 6 時から 23 時は約束である。町長の補足説明の中で 24 時とあったが、どういうことか。
- 横芝光町長 ・ 昭和 46 年の約束については理解している。5 時から 24 時 30 分の運用時間の中で、C 滑走路供用当初、例えば 6 時から 24 時のスタートもあり得るという可能性を残したものの。今後、意見集約を行い、議会と相談して決める。
- 発言者⑪ ・ 飛ばない時間が 4~5 時間では病気になる。
- 国交省 ・ 開港当初の約束は重いものと認識している。開港から 40 年がたち、グローバル化が進んでいる。千葉県知事や空港周辺 9 市町首長の要望活動の際も、石井国土交通大臣から夜間飛行制限緩和については見直しをお願いしたいとお話した。深夜早朝対策の更なる改善も含めた提案である。
- 発言者⑫ ・ 二重窓は効果があるのか。防音工事後のアンケート調査等はしているか。
- N A A ・ 防音工事はサンプル的に遮音効果の確認を行っており、また 7 年後には対象家屋の再調査も行っている。内窓体験ハウスも芝山町にある。
- 発言者⑫ ・ 二重窓や内窓にしてもベストではない。防音すればいいというわけではない。

【第2回目】

開催日：平成30年3月1日（木）19：00～21：53

開催場所：横芝中学校体育館

出席者：住民187名

説明者：国土交通省、千葉県、成田国際空港株式会社（NAA）、横芝光町

●質疑応答

- 発言者①
- ・スライド運用は谷間地域にとっては何ら改善がない。
 - ・木戸台地区についても移転対象にしてほしい。
 - ・防音工事限度額を超えた部分は共生財団や町でやってほしい。
- 千葉県
- ・防止特別地区については、集落の単位を組・班から区等に変更し、現時点では、法の範囲内のできる最大限のものである。
- NAA
- ・条件はあるが1人世帯について2人世帯とみなす変更をし限度額を上げ、内窓についても谷間地域まで広げるなど地域のご意見を伺いながら改善し提案させていただいている。
- 発言者②
- ・6点ある。1点目はなぜ空港会社社長や知事が来ないのか。2点目は約束が履行できない場合に誰が責任をとるのか。3点目は町長と町議員は町民の切実な意見を受け止めてほしい。なぜ成田市、芝山町、多古町のために横芝光町が犠牲にならなければいけないのか。4点目は住民被害対策がない。5点目は四者協議会が今月中という話があり、急いでいるようだが、時間をかけてやり取りしてほしい。6点目は機能強化計画の根本が間違っている。環境調査をしてほしい。
- 千葉県
- ・知事へは随時説明をしており、本日いただいた意見もしっかり伝える。なお、昨年5月に知事は横芝光町を訪問し、騒音の拡大エリアを視察している。
- 横芝光町長
- ・機能強化案が町にとって極めて影響があることを認識している。しっかりと町民の意見を聞いている。明日で決まってしまうというわけではない。
- 発言者③
- ・第4、第5滑走路を造ってもいいから夜は眠らせてほしい。東京オリンピック・パラリンピックが終われば需要も減ると思うので、一度決めたから終わりではなく、改革を加えながらやってほしい。
 - ・町資料の地域づくりの案は良くできている。特に鉄道は人を増やす。老人に対する施策も入れて欲しかった。
- 発言者④
- ・スライド運用では谷間地域に7時間の静穏はない。航空機の運用時間は6時から23時でお願いしたい。
- NAA
- ・空港の競争力を確保しつつ地域の生活環境も保全できる案を提案させていただいた。谷間地域には内窓を追加提案し、住民の皆様の安眠を確保することを考えている。
- 発言者④
- ・NAAは民間会社になって自分たちだけの利益追求になり、住民が犠牲になっている。
- NAA
- ・決して会社の利益のための機能強化ではない。

- 発言者⑤ ・賛成の立場で発言する。空港機能強化は必要。若い世代は空港と共に成長してきた。町は空港を活かしたまちづくりができ、雇用の拡大や経済効果もある。騒音問題についても各種対策が示されており、少子高齢化で東京一極集中が進んでいくことは明らかであるので、ここが今後も子育てできる町であり続け、発展していったらいい。
- 横芝光町長 ・冒頭申し上げたとおり、アンケート結果では機能強化に対する期待も多かった。どの道を歩むのがいいか町民のために議会と相談しながら進めたい。
- 発言者⑥ ・騒音下でない者が賛成意見を言うのはおかしい。
・機能強化には大反対。これ以上の拡大は許せない。町の最大のピンチだ。
・国は大きな事業を行う際には小さな町の影響について考えないのか。
- 国交省 ・「共生」が大命題。空港の発展を地域の発展につなげていきたい。
・実際には世界には24時間運用の内陸空港もある。
- 発言者⑦ ・成田空港はハブ空港になってほしいが、町民の納得が必要。
・町には情報提供をしっかりとやってほしい。
- 横芝光町 ・広報への掲載や各戸配布を行い、その都度周知を図っている。N A Aの相談センターも庁舎内に設置されているので活用いただきたい。
- 発言者⑧ ・もし横芝光町が合意しなかったらどうなるのか。
・住民の理解が重要と思っている。そのために丁寧な説明を行っている。仮定の質問については答えを控えたい。ただ、空港の機能強化は四方を海で囲まれている日本にとって重要なこと。他市町等関係者の意見も踏まえ、国としてはぜひとも機能強化を進めていきたい。
- 国交省
- 発言者⑨ ・騒音対策はしっかりやってもらう必要があるが、別の角度では少子高齢化の中で町の魅力を高めていく必要がある。機能強化には様々な恩恵もある。住民の声を活かしたまちづくりの仕組みづくりが必要。今回の機能強化は、魅力ある町づくりに大いに貢献してくれると思う。
- 横芝光町長 ・町をどう発展させていくか、どう人口流出を食い止めていくかが重要。地方創生の総合戦略を出した後にこの案が出た。未来永劫、町が発展していくよう、三者(国・県・N A A)に主張しながら努力していきたい。
- 発言者⑩ ・航空機の運用時間は6時から23時を守ってほしい。
・若い世代でもうるさいのは嫌で、若い人みんなが賛成しているわけではない。
・谷台地区は移転地域だが、町のほとんどが騒音エリアになり、町内には移転するところがない。
- N A A ・深夜早朝対策として内窓設置や深夜早朝時間帯に運航する航空機を低騒音機に徹底する提案をさせてもらった。マイナス部分を0に近づける努力を続ける。
- 発言者⑪ ・飛行時間緩和には反対。今までも空港へ理解と協力をしてきたつもり。航空機の運用時間6時から23時の約束があったからこそ開港できたはず。時間制限は内陸空港の

宿命。人間らしく生活する権利がある。騒音対策をしても 100%ではない。生存権を地域振興策と引き換えにはできない。

- 発言者⑫
国交省
- ・ 国にとってこの説明会の位置付けはどういうことか。
 - ・ 空港の機能強化の必要性と地域住民の生活環境の保全を図る目的での意見収集。その意見収集の結果を空港圏自治体連絡協議会に回答した。
- 発言者⑫
国交省
- ・ その回答を見ると、計画改善が見られない。
 - ・ 空港の機能強化と地域住民の生活環境の保全の 2 点を踏まえて検討していきたい。この 2 点に対応できる案である。
- 発言者⑫
国交省
- ・ 対策の主体は町なのか住民なのか。
 - ・ 基本は住民であるが、多くの場合は関係自治体で意見集約を行ってもらおう。
- 発言者⑫
国交省
- ・ 自治体の意見集約にのれない部分は訴訟を個人や団体で起こすのか。
 - ・ そういうわけではない。そのようなことを避けるために自治体で住民の意見集約を行ってもらっている。
- 発言者⑫
横芝光町長
- ・ 今の話を聞くと、少なくとも町長には早急な結論は出さないでほしい。
 - ・ 真摯に受け止めて対応していく。
- 発言者⑫
- ・ 最後に要求だが、横芝光町の地区意見をまとめるのが難しい状況にある。本来であれば一本化して示すべきだができていない。N A A や国交省、県も含めてもいいが、横芝光町全体の地区ごとの意見を集約し公表してほしい。また、それに対して、公的な質疑応答をしてほしい。
- 横芝光町
発言者⑫
- ・ それについては町から、騒対協や関係団体等と相談の上回答する。
 - ・ 町がまとめる主体になるということか。
- 横芝光町
- ・ 色々な団体等があるので話を通す必要がある。どこかで一本化なり何らかの窓口が必要だと思う。それについてはこの場ではなく、また相談させてほしい。
- 発言者⑬
- ・ 明日の町議会全員協議会で町の方向性を決めるということだが、この状況ではこの計画を進めるような結論は出せないはず。出したら町が混乱する。
 - ・ 本日の説明内容は、地区から出した要望に対してゼロ回答だった。十分な補償を出すべき。
 - ・ 9 市町の中でも町長は四面楚歌の状況で頑張ってもらっている。国の対応は信用ならないので、町長から評価している発言があったが、何の担保もない。町民の意をくんで町長には対応してもらいたい。